基盤研セミナー

血小板減少症治療薬
ルストロンボパグの開発に至る軌跡

日時：　平成28年9月9日（金）午後4時から5時まで

場所：　医薬基盤・健康・栄養研究所　1階　大会議室

（大阪府茨木市彩都あさぎ7－6－8）

講師：　客員教授　**武本　浩 先生**

東京大学大学院薬学系研究科　産学連携共同研究室（塩野義）

塩野義製薬株式会社　創薬疾患研究所　主席研究員

演者紹介

武本先生は、30年前から、バイオ医薬品と同等の活性を持つ安価な経口低分子医薬品を創製するための研究を進めてこられました。

その結果、ルストロンボパグの創製に成功されました。ルストロンボパグは、トロンボポエチン作用を有する低分子化合物で、ヒト骨髄前駆細胞から巨核球系への細胞の増殖・分化誘導を促進し、血小板数を増加させるため、血小板減少症の治療薬として使用されています。

本セミナーでは、アッセイ系の構築から、リード化合物の発見、開発化合物創製までの「創薬の軌跡」を紹介していただきます。

参加申込：不要　　**参加費：無料**

連絡先：創薬デザイン研究センター　近藤　（TEL：072-641-9873）